

青山アカデミア 履修証明プログラム用シラバスフォーマット

年度	Academic Year 2022
授業科目名	司法通訳(ポルトガル語)Ⅱ
学期	秋学期
教員名	板尾彩未

講義概要

本講義では、司法通訳実務に即したオリジナルの教材を活用し、メモを取る訓練やサイトラの訓練を行いつつ、事案ごとの頻出単語や専門用語の通訳及び翻訳手法を学習することにより、法廷通訳、捜査通訳、弁護士接見通訳などにおいて求められる通訳技術を体系的に学びます。後期では主に複雑な事件の訳し方を学びます。

達成目標

本講義では、刑事手続の各場面の模擬通訳訓練を行うことにより、法廷通訳のみならず捜査通訳や弁護士接見通訳などにも対応できるように、司法通訳に求められる専門的なスキルや豊富な知識の体得を目指します。

履修条件(前に履修しておくことが望ましい科目など)

ポルトガル語及び日本語について司法通訳の学習をするのに必要な語学力があり、前期の講義を受講していることが前提となります。

授業計画

1	授業計画	後期の講義内容の紹介、否認事件の通訳をする場合の留意点
	事前学習	講義レジュメ「通訳人から見た刑事手続の流れ」を確認しておく
	事後学習	否認事件の通訳をする場合の留意点を再確認する
2	授業計画	裁判員裁判対象事件の模擬裁判(否認の殺人事件):起訴状
	事前学習	模擬裁判で使用するシナリオを翻訳する
	事後学習	書面(シナリオ)の訳し方を再確認する
3	授業計画	裁判員裁判対象事件の模擬裁判(否認の殺人事件):冒頭陳述
	事前学習	模擬裁判で使用するシナリオを翻訳する
	事後学習	書面(シナリオ)の訳し方を再確認する

4	授業計画	裁判員裁判対象事件の模擬裁判(否認の殺人事件):証人尋問
	事前学習	事案の内容から証人尋問の内容(何を訳すか)を想定してみる
	事後学習	上手に訳せなかった部分があれば、自分なりにもう一度訳してみる
5	授業計画	裁判員裁判対象事件の模擬裁判(否認の殺人事件):被告人質問
	事前学習	事案の内容から被告人質問の内容(何を訳すか)を想定してみる
	事後学習	上手に訳せなかった部分があれば、自分なりにもう一度訳してみる
6	授業計画	組織的窃盗事件の通訳(訳し方及び留意点)
	事前学習	事前に配布された資料を翻訳する
	事後学習	授業で習った頻出用語を再確認する
7	授業計画	組織的窃盗事件の通訳(サイトラ訓練)
	事前学習	前回の授業内容を振り返っておく
	事後学習	サイトラ訓練に使用したシナリオを一通り翻訳してみる
8	授業計画	強盗事件の通訳(頻出用語)、日本の刑法とブラジルの刑法の比較
	事前学習	事前に配布された資料を翻訳する
	事後学習	授業で習った法律用語を再確認する
9	授業計画	傷害事件、強盗致傷事件、殺人事件の通訳(特徴及び頻出用語)
	事前学習	事前に配布された資料を翻訳する
	事後学習	講義レジュメを使って頻出用語を再確認する
10	授業計画	自動車運転処罰法違反、道路交通法違反などの通訳(頻出用語)
	事前学習	事前に配布された資料を翻訳する
	事後学習	授業で習った頻出用語を再確認する
11	授業計画	詐欺や脅迫など言辞が問題になる事件の通訳における留意点
	事前学習	事前に配布された資料を翻訳する
	事後学習	この種の事案で求められる通訳術をもう一度確認する
12	授業計画	少年審判や出入国在留管理局の違反審査などの通訳
	事前学習	講義レジュメ「通訳人から見た刑事手続の流れ」を確認しておく
	事後学習	授業で習った用語を復習する

13	授業計画	ポルトガル語の通訳(翻訳)を要する主な民事事件
	事前学習	事前に配布された「訴状」を翻訳する
	事後学習	民事事件の内容や訳し方を再確認する
14	授業計画	控訴審で法廷通訳をする場合の留意点及び訳し方
	事前学習	事前に配布された資料を翻訳する
	事後学習	授業で習った法律用語を復習する
15	授業計画	試験
	事前学習	講義レジュメや授業ノートなどを使って後期に習ったことを復習する
	事後学習	特になし

授業方法

授業は日本語で行いますが、実践的な通訳訓練は日本語とポルトガル語の双方向で行います。教材は主に講義レジュメ(オリジナル教材)を使用します。模擬裁判で使用するシナリオの一部については、事前に翻訳文を準備する必要があります。サイトラの授業では教材を印字する必要がありますので、プリンタのある環境で受講して下さい。

成績評価方法

本講義では、授業でのパフォーマンス及び本学期末に行う試験により総合的に成績を評価します。

青山アカデミア 履修証明プログラム用シラバスフォーマット

年度	Academic Year 2022
授業科目名	司法通訳(フィリピン(タガログ)語)Ⅱ
学期	秋学期
教員名	高畑 幸

講義概要

捜査、弁護士接見、裁判等での司法通訳に対して注意すべき点についての理解を深め、フィリピン(タガログ)語の語彙をさらに増やし、通訳技能の実践練習を行う。

達成目標

法廷通訳等、日本の司法に関わる様々な場面での通訳業務に必要な実践的知識と技能を身に着ける。

履修条件(前に履修しておくことが望ましい科目など)

- ・司法通訳(フィリピン(タガログ)語)Ⅰを履修していること。通訳可能なレベルのフィリピン(タガログ)語と日本語の能力があり、基礎的訓練を大切にしつつ向学心を持って勉強を続けられること。
- ・テキストは以下の2冊。最高裁判所(2012)『法廷通訳ハンドブック・実践編・フィリピン(タガログ)語(改訂版)』法曹会。最高裁判所(2017)『少年審判通訳ハンドブック・フィリピン(タガログ)語(改訂版)』法曹会。全国官報販売協同組合サイトで購入可能。(https://www.gov-book.or.jp/book/)
- ・第12回授業までに、授業時間外に各自で要通訳事件の裁判傍聴をして下さい。フィリピン(タガログ)語の事件が望ましいですが、無理な場合は別の言語でも構いません。第13回授業で、各自で傍聴した事件の概要と通訳人の仕事ぶりについての観察を報告してもらいます。

授業計画

1	授業計画	覚せい剤事件の模擬公判(1)冒頭手続きと起訴状朗読等
	事前学習	事前に渡す模擬書面(起訴状)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。
2	授業計画	覚せい剤事件の模擬公判(2)検察官の冒頭陳述
	事前学習	事前に渡す模擬書面(冒頭陳述)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強
3	授業計画	覚せい剤事件の模擬公判(3)書証の要旨告
	事前学習	事前に渡す模擬書面(証拠の要旨)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。
4	授業計画	覚せい剤事件の模擬公判(4)証人尋問と被告人質問
	事前学習	事前に渡す模擬書面(シナリオ)の翻訳。

	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。
5	授業計画	覚せい剤事件の模擬公判(5) 検察官の論告・求刑
	事前学習	事前に渡す模擬書面(論告要旨)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。
6	授業計画	覚せい剤事件の模擬公判(6) 弁護人の弁論
	事前学習	事前に渡す模擬書面(弁論要旨)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。
7	授業計画	覚せい剤事件の模擬公判(7) 判決宣告、覚せい剤事件の振り返り
	事前学習	事前に渡す模擬書面(判決宣告)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。
8	授業計画	少年事件(非行)の模擬審判(1) 調査手続
	事前学習	事前に渡す模擬書面(調査手続)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。
9	授業計画	少年事件(非行)の模擬審判(2) 審判手続
	事前学習	事前に渡す模擬書面(審判手続)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。
10	授業計画	少年事件(非行)の模擬審判(3) 決定等の告知、保護観察処分の説明、少年事件の振り返り
	事前学習	事前に渡す模擬書面(決定等の告知等)の翻訳
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。
11	授業計画	家事事件(離婚)の模擬公判(1)
	事前学習	事前に渡す模擬書面(離婚事件)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強
12	授業計画	家事事件(離婚)の模擬公判(2)
	事前学習	事前に渡す模擬書面(離婚事件)の翻訳
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強
13	授業計画	裁判傍聴をした事件に関する報告と意見交換
	事前学習	裁判傍聴をした事件についての報告を準備する。
	事後学習	授業ノートで復習。
	授業計画	フィリピン語法廷通訳人(ゲスト講師)との意見交換

14	事前学習	法廷通訳人への質問を考えておく。
	事後学習	授業ノートで復習。
15	授業計画	まとめ、理解度確認(試験)
	事前学習	秋学期に学んだ法律用語や通訳技術を再確認する。
	事後学習	秋学期の授業を総合的に振り返って復習する。

授業方法

授業中に実際に訳す機会を多く設ける。毎回、授業の終わりに新出の単語をまとめ、翌週の冒頭で単語(フレーズを含む)テストをする。受講生と講師、および、受講生同士で積極的に意見交換や通訳・翻訳業務に関するアドバイスの交換を行いたい。

成績評価方法

毎週の単語テストの点数、授業への積極的な参加態度、通訳能力の向上の度合いで総合的に判断する。

青山アカデミア 履修証明プログラム用シラバスフォーマット

年度	Academic Year 2022
授業科目名	司法通訳(ミャンマー(ビルマ)語)Ⅱ
学期	秋学期
教員名	原田 正美

講義概要

春学期で学んだ通訳訓練法や法廷通訳の流れ、用語、文体のイメージなどをベースに、司法通訳が関わる様々なケースに対応できる知識と技能を身につける。秋学期では実習に比重を置く。

達成目標

司法通訳の立ち位置を理解し、事件の関連語彙の収集から雛型に基づく書面の作成、不明な語彙への対応等、現場に臨んで適切な準備・対処ができる、司法通訳に必要な知識と技能を身につける。

履修条件(前に履修しておくことが望ましい科目など)

春学期の内容を整理、復習しておく。『法廷通訳ハンドブック 実践編<ミャンマー語>(改訂版)』を引き続き使用する。

授業計画

1	授業計画	(暴力に関わる)刑事裁判証人尋問
	事前学習	指示に従ってシナリオを翻訳しておく
	事後学習	ハンドブック、用語集の整理
2	授業計画	(暴力に関わる)刑事裁判被告人質問
	事前学習	指示に従ってシナリオを翻訳しておく
	事後学習	ハンドブック、用語集の整理
3	授業計画	難民認定について(1)
	事前学習	記事を翻訳
	事後学習	ハンドブック、用語集の整理

4	授業計画	難民認定について(2)
	事前学習	記事を翻訳
	事後学習	ハンドブック、用語集の整理
5	授業計画	裁判員裁判の手続きについて
	事前学習	裁判員裁判についてネットなどで調べておく
	事後学習	ハンドブック、用語集の整理
6	授業計画	民事訴訟
	事前学習	シナリオを翻訳しておく
	事後学習	ハンドブック、用語集の整理
7	授業計画	中間テスト
	事前学習	これまでの受講内容の復習
	事後学習	前半の振り返り
8	授業計画	ミャンマーの司法手続きについて
	事前学習	資料を翻訳しておく
	事後学習	ハンドブック、用語集の整理
9	授業計画	模擬裁判(1)
	事前学習	課題を予習
	事後学習	ハンドブック、用語集の整理
10	授業計画	模擬裁判(2)
	事前学習	課題を予習
	事後学習	ハンドブック、用語集の整理
11	授業計画	模擬裁判(3)
	事前学習	課題を予習
	事後学習	ハンドブック、用語集の整理
12	授業計画	模擬裁判(4)
	事前学習	課題を予習
	事後学習	ハンドブック、用語集の整理

13	授業計画	模擬裁判(5)
	事前学習	課題を予習
	事後学習	ハンドブック、用語集の整理
14	授業計画	模擬裁判(6)
	事前学習	課題を予習
	事後学習	ハンドブック、用語集の整理
15	授業計画	最終テスト
	事前学習	これまでの受講内容の復習
	事後学習	これまでの資料等を使える形で整理

授業方法

1) 課題(シナリオや書面の翻訳等)を持ち寄り、2) 1)をもとに発表・ロールプレイング・聞き取り・ディスカッション・検討を行い、3) ハンドブックの修正(用語のストック)確認をする、の3つを組み合わせる授業を行う。

成績評価方法

授業や課題への積極的な取り組み、中間・期末テストの点数、通訳上達度などで総合評価する。